

事業所名

ライシャワー学園きこえサポートセンター

支援プログラム（児童発達支援）

作成日

2026 年

7 月

30 日

法人（事業所）理念		キリスト教精神に基づいた聴覚主導の人間教育を行い、共感的、対話的人間性を育む取り組みを通して、幼児、児童、生徒個々の能力や個性を伸ばし、一人ひとりが自立して社会に仕える人となるよう支え導く。							
支援方針		補聴器、人工内耳を通して声や音に気づき、親と子どもが正しくかわりあうことを通してことばの基礎を築き、創造力を伸ばし、良い生活習慣が身につくように支援します。							
営業時間		8 時	30 分	から	16 時	30 分	まで	送迎実施の有無	あり なし
		支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	決まった時に決まったことを繰り返すことで生活リズムが整い、子どもが見通しをもって安心して生活できるようになります。そのようなよい生活習慣の中で繰り返し経験することで、親の話しかけやルールを理解するようになり、聞き分けがついていきます。家庭で一人ではできにくい習慣も、お友達と一緒に経験することによって身につけられることもあるので、本園のグループと一緒に参加し育んでいきます。							
	運動・感覚	子どもは、大人と触れ合う遊びをととても喜びます。明るい表情で楽しく、スキンシップ遊びを経験していくようにします。また、小さい時からよく活動する子どもは心身ともに逞しく育っていきます。様々な身体的な刺激が、脳の発達に繋がります。様々な身体遊びを通して思い切り体を使う遊びを経験していきます。							
	認知・行動	グループ活動や個別支援の中で様々な経験を積み重ね、周囲の出来事や物事の関係性を理解したり、考えていけるように支援します。							
	言語コミュニケーション	アイコンタクト・ジョイントアテンション・ターンテーク等、コミュニケーションの3要素を意識しながら、共感的なやり取り(インタラクション)を日常生活の中で積み重ねていきます。ことばを教え込むことを目的とするのではなく、子どもがことばで表現できない思いや気持ちを受けとめ、適切な言葉で返すことで、子どもの生きたことばの発達を支援します。							
	人間関係社会性	1対1でまずは受け止めてもらう経験をたっぷりとしていくようにします。それが土台となって、安心して他者とのかわりが広がっていくようにします。							
家族支援		週1回の個別支援を通して、ご両親が安心して楽しく子育てができるように支援します。特に聴覚を最大限生かして聴くことや話すこと、そして全体発達を支えます。また、共働き家庭でも安心して専門療育が受けられます。				移行支援		幼稚園や保育園に通う子どもたちの支援として、園でのきこえの環境整備、関係者への補聴機器の扱い方、子どもとのかかわりについて、連携して進めていくようにする。	
地域支援・地域連携		見学会や教育相談を随時実施している。町田市の発達支援センターと連携して、難聴の相談と検査を実施している。				職員の質の向上		週2回のケース会議と週1回の職員の研修を実施して、専門性向上に努めています。また、学期末の研修を学校法人全体で実施し、全ての職員が共通の研修を受けている。	
主な行事等		幼稚部・小学部・中学部の教育活動の見学。幼稚部の保護者との話し合い。卒業生とその保護者による講演会。学校行事（入学式、運動会、学芸会、クリスマス、卒業式）への参加。							